

平成22年度「調査研究助成事業」助成対象者一覧

No.	所属団体名	役職名	申請者氏名	事業の名称	事業の意義及び目的
1	特定非営利活動法人せとだ港房	理事長	長澤 宏昭	せとだアートムーブメント21	平成21年度は尾道市との協働で島文化の再発見と継承についての状況調査を行ったが、次年度はこの結果に基づき具体的にその活用法を模索し、今後の地域振興(イベントへの参加・国内外の方を瀬戸田へ呼び込む)に向けての基礎固め及び方向性の見極めをつけることを目的として活動を行う。そのためには島内に点在する17のアートの活用が不可欠である。
2	特定非営利活動法人クリエイティブサポートレッツ	理事長	久保田 翠	たけし文化センターARS・NOVA	障害のある人の日常的な生きる力をアートを介して文化発信をすることにより、福祉の新たなあり方を提案していくと共に、コミュニケーションを通して、その地域、そこにいる人達の特性や熱意とを組み合わせた独自の「生きた地域文化」の振興をおこなう。また、ここでの成果を事例とし、さまざまな施設での類似活動を促進し、4年後に市内各所の施設をリンクさせたアートプロジェクト事業を開催を目指す。
3	アートプロジェクトの客観的評価研究会 (松本文子、笹島秀晃、小泉元宏)		松本 文子	アートプロジェクトによる地域新興をめぐる客観的評価手法の構築:瀬戸内国際芸術祭2010を事例として	現在、日本国内においては地域振興のための様々な規模のアートプロジェクトが開催されているが、その適正な評価の枠組みは定まっておらず、叙述的な説明や報告書にとどまるといった問題がある。また、アートプロジェクトを芸術的意義と外部性の双方向から偏りなく評価することも必要とされる。本事業は科学的な調査スキームを用いて客観的な評価を行うとともに、アートプロジェクトの有する独自の意義を抽出することを目的とする。